

## 計算書類に対する注記（法人全体用）

法人名：社会福祉法人播磨西部福社会

## 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

## 2. 重要な会計方針

## (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

## (2) 固定資産の減価償却の方法

・有形固定資産一定額法

## (3) 引当金の計上基準

・賞与引当金 一翌期に支給する職員賞与のうち、支給対象期間が当期に帰属する支給見込額を計上している。

・退職給付引当金一職員の退職給付に備えるため、期末要支給額を計上している。

## 3. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 4. 法人で採用する退職給付制度

退職一時金制度を採用している。

## 5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の計算書類（会計基準省令第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式）

(2) 事業区分別内訳表（会計基準省令第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式）

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表（会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式）

(4) 公益事業における拠点区分別内訳表（会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式）

## (5) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

## ① 揖保の郷（社会福祉事業）

- ・「本部」
- ・「特別養護老人ホーム」
- ・「ショートステイ」
- ・「デイサービス」
- ・「居宅支援事業」

## ② 天馬の家（社会福祉事業）

- ・「小規模多機能」

## ③ 天馬の郷（公益事業）

- ・「天馬の郷（非収益）」
- ・「天馬の郷（収益）」

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位： 円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	55,356,680	0	0	55,356,680
建物	178,973,459	0	13,137,418	165,836,041
合計	234,330,139	0	13,137,418	221,192,721

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地	123,851,740 円
計	123,851,740 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金	587,500,000 円
計	587,500,000 円

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位： 円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	544,346,160	378,510,119	165,836,041
建物	432,801,152	61,164,521	371,636,631
建物附属設備	264,740,331	143,904,017	120,836,314
構築物	50,199,385	14,545,190	35,654,195
車両	31,011,826	24,119,588	6,892,238
器具備品	75,883,743	72,159,304	3,724,439
合計	1,398,982,597	694,402,739	704,579,858

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位： 円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	82,372,504	0	82,372,504
立替金	1,603,367	0	1,603,367
合計	83,975,871	0	83,975,871

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け

該当なし

16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（揖保の郷用）

法人名：社会福祉法人播磨西部福祉会（社福）

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法  
・有形固定資産一定額法

(3) 引当金の計上基準  
・賞与引当金 ー翌期に支給する職員賞与のうち、支給対象期間が当期に帰属する支給見込額を計上している。  
・退職給付引当金ー職員の退職給付に備えるため、期末要支給額を計上している。

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

退職一時金制度を採用している。

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 揖保の郷拠点計算書類（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）

(2) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（⑩））

(3) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（⑪））

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	55,356,680	0	0	55,356,680
建物	129,450,175	0	11,339,505	118,110,670
合計	184,806,855	0	11,339,505	173,467,350

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

### 7. 担保に供している資産

該当なし

### 8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	475,195,660	357,084,990	118,110,670
建物	128,736	93,329	35,407
建物附属設備	65,823,635	50,504,790	15,318,845
構築物	34,560,028	6,702,774	27,857,254
車両	21,693,288	14,801,056	6,892,232
器具備品	45,035,367	43,510,736	1,524,631
合計	642,436,714	472,697,675	169,739,039

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位： 円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	42,702,538	0	42,702,538
立替金	540,463	0	540,463
合計	43,243,001	0	43,243,001

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（天馬の家用）

法人名：社会福祉法人播磨西部福祉会（社福）

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法  
・有形固定資産一定額法

(3) 引当金の計上基準  
・賞与引当金　－翌期に支給する職員賞与のうち、支給対象期間が当期に帰属する支給見込額を計上している。  
・退職給付引当金－職員の退職給付に備えるため、期末要支給額を計上している。

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

退職一時金制度を採用している。

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 天馬の家拠点計算書類（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）

(2) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（⑩））

(3) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（⑪））

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	49,523,284	0	1,797,913	47,725,371
合計	49,523,284	0	1,797,913	47,725,371

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

### 7. 担保に供している資産

該当なし

### 8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	69,150,500	21,425,129	47,725,371
車両	5,007,418	5,007,415	3
器具備品	3,645,029	3,619,235	25,794
合計	77,802,947	30,051,779	47,751,168

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	7,781,836	0	7,781,836
立替金	227,308	0	227,308
合計	8,009,144	0	8,009,144

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（天馬の郷用）

法人名：社会福祉法人播磨西部福祉会（公益）

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法  
・有形固定資産一定額法

(3) 引当金の計上基準  
・賞与引当金　－翌期に支給する職員賞与のうち、支給対象期間が当期に帰属する支給見込額を計上している。  
・退職給付引当金－職員の退職給付に備えるため、期末要支給額を計上している。

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

・退職一時金制度を採用している。

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 天馬の郷拠点計算書類（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）

(2) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（Ⅹ））

(3) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（Ⅺ））

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

### 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地		123,851,740 円
計		123,851,740 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金		587,500,000 円
計		587,500,000 円

### 8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	432,672,416	61,071,192	371,601,224
建物附属設備	198,916,696	93,399,227	105,517,469
構築物	15,639,357	7,842,416	7,796,941
車両	4,311,120	4,311,117	3
器具備品	27,203,347	25,029,333	2,174,014
合計	678,742,936	191,653,285	487,089,651

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	31,888,130	0	31,888,130
立替金	835,596	0	835,596
合計	32,723,726	0	32,723,726

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態

を明らかにするために必要な事項

該当なし